

平成29年度 第1回那珂市行政評価外部評価委員会 要旨

日 時：平成29年7月5日（水）午後1時～午後3時

場 所：那珂市役所本庁舎504会議室

出席者：伊藤伸 委員長、石渡秀朗 委員 山本薫 委員

中岡才士 構想日本政策スタッフ

事務局：海野徹市長

平松行財政改革推進室室長、加藤室長補佐（総括）、金田室長補佐

- 1 開会
- 2 委嘱状交付
- 3 市長挨拶要旨

本日はお忙しいところ、第1回那珂市外部評価委員会にお集まりいただき、誠にありがとうございます。また、皆さまには、この委員をお引き受けいただき、深く感謝申し上げます。

本年度の外部評価については、市の事業及び業務とその状況について、客観的に分析し課題点を共有することにより、事務の整理による効率化、職員の意識改革、効率的な財政運営を行うことができるよう、論点整理に特化した外部評価いわゆる業務点検方式を実施したいと考えております。また、全庁的に点検をする観点から、評価対象を市民にとって関心はあるが、専門性が高くわかりにくいと感じるものを中心に、個別事業に留まらず業務全体も含めて選定することとしました。

外部評価委員会の皆さんの外からの視点による評価、ご意見等をいただき、点検の過程や結果を市民に公開することにより、市民との協働のまちづくりの推進につながるものと考えております。今回を含め4回の開会になりますけれども、よろしくお願い申し上げます。

- ・ 委員自己紹介
- ・ 事務局自己紹介

4 協議事項

（1）委員長選出

互選により、委員長に伊藤伸委員を選出した。

副委員長には、委員長指名により石渡委員を選出した。

(2) 平成29年度那珂市行政評価外部評価について

平成29年度那珂市行政評価外部評価について、以下のとおり事務局から説明した。

- ・平成24年度から平成25年度までは、事業仕分け方式、平成26年度から平成27年度までは市民判定人による外部評価を実施し、市民とともに効果的で効率的な行政改革を推進してきた。
- ・第31次地方制度調査会の答申においては、内部統制の必要性が述べられており、その整備運用が求められている。
- ・本年度は、昨年度に引き続き市が実施する事業及び業務とその状況を対象に、手順や内容を整理し、やり方改善や効率化、リスク管理の視点から、客観的に分析し課題点を共有することにより、行政サービスの質の向上、職員の意識改革、効率的な財政運営を行うことが図れるよう、業務点検方式による外部評価を実施する。
- ・客観性及び透明性を確保するため、外部の視点で、公開の場において評価を行う。
- ・7月～10月頃延べ4日間実施し、3回目と4回目は市民向け公開で、若手職員の研修を兼ねる。
- ・最終回である4回目は市民向けの公開で、基調講演と成果検証のパネルディスカッションとする。ここで外部評価の取り組みを振り返り、成果や経緯等を検証する。
- ・対象事業及び業務は、全庁的にチェックを入れる観点から、これまでの事業仕分け・外部評価委員会において評価対象とならなかったもので市民にとって関心はあるが専門性が高くわかりにくいと感じるものを中心に、個別事業に留まらず業務全体も含めて選定し、決定する。

(3) 外部評価対象事業の選定について

対象事業の選定について、以下のとおり事務局から説明した。

- ・これまで外部評価が入っていない、水道課・会計課・議会事務局・農業委員会事務局から、対象は予算書の事務事業名にこだわらずに業務範囲を指定する。
- ・業務の手順を“見える化”し、多数の視点で検討ができる形にして、課題や改善点の有無を含め検証する。市民レベルに整理して市民に向けて説明することで、職員の意識変化、点検ノウハウの共有活用、業務の効率化などを期待する。
- ・具体案として次の4事業を候補として提案する。

○水道課の水道料金賦課徴収業務

(水道料金賦課徴収のしくみ、検針、徴収等の手順)

○会計課の会計業務

(各課の収入、支出に伴う伝票審査、処理、現金、財産の記録・管理の手順)

○議会事務局の議会運営業務

(議会運営の基本的な流れ、市民への周知に至るまでの過程等の手順)

○農業委員会事務局の農地転用許可業務

(農地転用の申請、許可までの手順)

→以上の4事業を評価委員会で選定した。

5 その他

- ・事務局で那珂市の概要を説明した。

(省略)

- ・提出書類の説明をした。

(省略)

- ・第2回委員会は8月9日(水)本庁5階で開催する。

委員意見

- ・第2回目は聞くだけなのか。(事前ヒアリング)
- ・第3回目意見交換はないのか。(2回目と3回目はほぼ同じ)
- ・昨年第4回目は職員の2年目3年目研修を兼ねていたが、今回は何か検討しているか。(今回も若手職員の研修に取り込んでいる。)
- ・意見をする場はないのか。(第4回目にある。)
- ・各業務のマニュアルは作られているのか。(事務引き継ぎ書はあるが、マニュアルは作っていない。)
- ・事業の選択は行革で選択するのか。(外部評価委員のご意見を頂いて決める。)
- ・業務フローについては、時間の観点と処理人工が必要だと思う。
- ・水道の収支については、賦課徴収としてお金をもらうということは、料金がどう決まっていくなか全体の決算なり、予算も議論した方がよい。
- ・予算額だけではなく、人工も大事になってくると思う。
- ・徴収の一元化はしているのか。(税金関係はしている。)
- ・旅費のチェック(計算)は会計課でやるのか。(総務課でチェックし、会計課にもっていく。)
- ・契約の瑕疵は会計でチェックするのか。(チェックはするが、随契理由等は財政課)
- ・伝票は紙なのか。(電子決済は行っていない。)
- ・議会はフロー図の中に、議会が決定するところを、わかるように入れたほうがよい。
- ・他は予算の事業名だが、農地転用事務は特出ししているのは意味があるのか。(農業委員会事務局は農地転用事務がかなりのウェートを占めているから。)
- ・システムの運用管理が事業であるが、他の課はどうなのか。(予算の取り方)
- ・那珂市は都市計画区域か。(全域が区域で、市街化区域と市街化調整区域に線引きされている。)
- ・こういう課題があるというのをぜひ聞かせてほしい。(シートに追加することとする。)

